

千年の森便り No.125

2014.2.27

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.digi2.jp/>

事務局長 伊藤道男

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

2月23日(日) 晴

2月16日の活動日を積雪のため1週間延期して実施、参加会員は新井通子、伊藤、鶴沢、大原、苅米、久我夫妻、高橋、福島、根本、松田、真鍋、村野、山口の14名、更に里山カレッジ実習の赤松さん、遠路座間市から上田さんも参加され総勢16名。豊英島は2週続きの雪に覆われ、雪の重みで折れた樹木や枝が散乱していました。全員で照度調査の後、コナラ林伐採地の食害防止ネット設置を行い、斜面などの植物調査も行いました。長靴が雪に埋もれ、指がかじかむ寒さでしたが、雪景色を楽しみながら体が温まるほど働き、この日予定の作業を完了しました。参加の皆さんお疲れ様でした。(真鍋)



朝一番、好天と残雪に感嘆の声



林床は厚い雪に覆われ



木や枝は雪の重みに耐えかねて折れ

○相対照度調査

10時から11時過ぎまで、恒例の相対照度調査を行いました。使用した機材は、照度計8台とトランシーバー9台です。前半は、島内で定点観測を行っている測定箇所13箇所の測定を行い、後半は巨木林植生保護柵内(30箇所)と外(9箇所)の測定を行いました。



照度計とトランシーバー操作リハーサル



巨木林柵内の照度調査

今回の調査で最も相対照度が高かったのは、コナラ更新林のヒメコマツ植栽地(77.3%)です。次いで、今回初めて測定した、千年広場横のコナラ伐採地(71.9%)でした。また、最も相対照度が低かったのは、ホテイチク保護柵横(6.5%)でした。2013年の着葉期に比べると、ホテイチク保護柵横以外はすべて相対照度が大きくなり、2013年の落葉期に近い値となりました。相対照度測定結果は3頁をご覧ください。(福島)



一般財団法人

セブン・イレブン記念財団

この活動は、一般財団法人セブン・イレブン記念財団の助成を受けています

○コナラ更新林植生保護ネット

昨年来伐採をしたフィールドの周囲に食害防止ネットを設置しました。延長90メートル弱で約500平方メートルを囲いました。思ったより雪が残っており足元が不安定でしたが、2メートルごと支柱の打ち込み設置、防止網の取り付けと参加者の息も合い、思ったより短時間で一周の設置を完了しました。雪原に一直線に伸びる防止ネットはなかなか壮観です。裾の仕上げは雪が消えてから行います。

このフィールドは植栽等を行わず、多様な樹種の混成した森林に育てる(誘導する)方針ですが、まずは、この春に萌芽と実生でこういった樹木が姿を見せるのか、また草本が現れるのか、しっかり見守りたいと思います。(伊藤)



支柱を打ち込み



植生保護ネットで囲い



フィールドは約 500 m²

○植物調査

午後赤松さん・上田さんは植物班と一緒に植物調査をしました。先ずコセリバオウレン探し；急斜面を降り、つるや立木につかまりながら株を探し、6株を確認、内1株に3輪咲いていました。スハマソウも徹底的に探しましたが、湖岸にも祠山裏にも見当たりません。花だけでなく、株も葉も見当たらないのが気になります。長期間厚い雪に覆われ、林床の植物がどうなるのか気がかりです。フデリンドウは千年広場の竹棚の下に1株だけ芽を出していました。



コセリバオウレン(2月23日、赤松さん)

クロヤツシロランとクロムヨウランの調査に遠路駆けつけた上田さんは、いずれも厚い積雪に阻まれ、成果が少なく残念でした。クロヤツシロランは、今年こそ秋に花を見つけましょう。(真鍋)

里山活動実習豊英島体験記

袖ヶ浦市 赤松義雄

昨日は色々お気遣い頂きありがとうございました。会員の皆様の温かい受け入れに感謝いたしております。照度測定では長靴の中で足先が冷たくしびれてきましたが、豊英島に自分が居ることを思うと我慢出来るものであります。

その後の植物調査では福島さんが危険をも顧みず崖を降りて行く姿は少年のようで気持ちが身にしみただ感謝です。真鍋さんまで降りて来られたのには

はヒヤヒヤものでした(*)。今回、豊英島の一部だけ見ましたがまだまだ奥深いものがありそうで冒険心をそそります。今後とも何回も来なくなる処なので皆様よろしくお願ひします。←(写真左)伊藤さんのおっしゃっていた木の根元から雪が解ける『根開き』というそうです。<http://shinrin-jp.jugem.jp/?eid=38>



急斜面で崖の植物を探す赤松さん



(*)新井さんの厳しい制止を振り切って急斜面を降り、私もヒヤヒヤでした。余計なご心配かけました。(真鍋)

お知らせ

○3月活動日

3月16日(日) 県民の森駐車場9時30分集合。ニホンジカ調査、シイタケ・ヒラタケ植菌など計画しています。雪の重みで折れた木や枝の整理、2月に設置した保護ネット裾の固定などもあります。またヒメコマツ保全グループの観察会も計画されています。森にはマメザクラ、ウグイスカグラ、スハマソウ、シュンラン等咲き始め、シイタケも出始めている頃です。多くの会員の参加を歓迎します。

○「千年の森」ホームページとFace Book

昨年6月福島会員のご尽力で「ちば千年の森をつくる会」新ホームページを開設し、その後タイムリーに更新、豊英島の自然-植物やきのこ、動物などもアップされ、逐次内容が充実してきました。閲覧件数も増え、間もなく1,300件を越えます。ホームページとともに、Face Bookもご覧になり、画像や意見の投稿、情報交換の場としてご活用ください。ご不明の点はトップページ末尾の「問合せ」からお問合せ下さい。

相対照度調査結果

測定箇所	相対照度 (%)					
	2011. 7. 18 着葉期	2012. 2. 19 落葉期	2012. 7. 16 着葉期	2013. 2. 17 落葉期	2013. 7. 15 着葉期	2014. 2. 23 落葉期
2-7Eミ 混じり 巨木林	2.8	18.9	0.9	10.6	0.5	17.8
2-13Eミ 混じり 巨木林	3.3	47.5	2.2	39.9	2.7	36.8
3-16シイタケ 栢場	1.4	23.5	2.3	19.6	3.1	18.2
4-16シイタケ 栢場	1.0	24.1	4.8	15.1	1.9	33.1
千年広場中央	18.9	61.7	16.4	58.4	16.4	63.9
コナラ 更新林の 苗畑	19.3	58.9	14.0	61.1	21.7	56.7
ホテイチク 保護柵横	1.1	18.2	-	6.8	7.7	6.5
マダケ 保護柵の間	8.1	22.6	-	16.9	7.6	11.3
ガマズミ	3.7	46.1	3.9	58.8	4.1	
ヤマユリ 保護柵の中	3.5	49.2	5.7	50.2	4.3	47.2
コナラ 更新林ヒメコマ	41.0	86.5	42.0	75.3	58.1	77.3
岬ヒメコマツ	54.2	86.8	22.5	54.6	26.6	44.4
スハマソウ 北斜面		19.1	2.1	8.8	1.4	12.9
コナラ伐採地						71.9